

県士会ニュース

No. 185

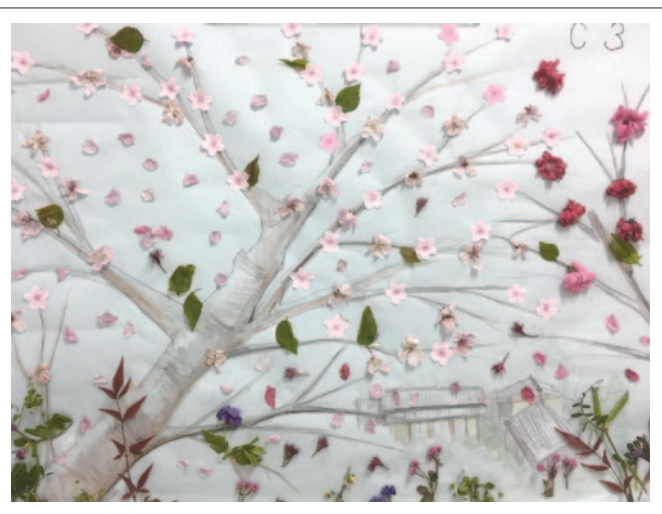
Kanagawa occupational therapist society

Contents

TOPIC

～第16回神奈川県作業療法学会への道のりvol.7～ 3

作品コーナー.....	1	連載コラム ちょっと一杯 どうですか？	6
巻頭言.....	1	各部からの報告.....	7
理事会報告.....	4	求人案内.....	11
連載 生活行為向上マネジメント.....	5	編集後記.....	12
研修会案内.....	5		



作品コーナー

担当作業療法士：後藤沙紀氏（新戸塚病院）

作品名 花はやっぱり桜だね

制作者 石川真由美 様、石川由紀子 様、岡部 スミ 様、
田代 好恵 様、松本 玲子 様、水野 妙 様

みんなで誘い合って、技術とアイデアを出し合えました。絵の先生が下絵を描き、折り紙の先生が桜の花の形に折り紙を切り、本物の桜の花と一緒に下絵に貼りました。最初はできるかどうか自信がありませんでしたが、楽しく取り組みました。入院中にここで会ったのも偶然の事。出会いに感謝！

巻頭言

— いい、いろを、つける —

一般社団法人 日本作業療法士協会 会長 中村 春基



平成 29 年度、新たな年度の始まりにあたり、ご挨拶を申し上げます。

この度は、貴重な機会をいただき心より感謝申し上げます。

あなたの色は何色？

さて、本稿のお題を「いい、いろを、つける」とさせていただきます。あなたの色は何色でしょうか。私の色はというと、「協会長」という色を思い浮かべる方も多いでしょう。確かに今でこそ協会長ですが、41 年間の作業療法士歴の中で私も様々な

経験を積んでまいりました。新人の頃は生意気な作業療法士で、先輩方はヒヤヒヤしながら育ててくれたに違いありません。52 歳で職場のリハビリテーション部長を拝命し 59 歳まで勤めましたが、この 7 年間は、それまで提案しても実現できなかった様々な企画をやり尽くした感があります。他方、協会の理事も 30 年以上務め、協会長になって 4 期 8 年が経過しました。こうした来歴をくぐり抜けてきた結果として、私には私という一人の人間の一つの色が配合されてきたのだと思います。

P2 へ続く

おのれの色を“鍛える”

ひとの色は結果としてついてくるものですが、その色に深みや艶や味わいが伴うように、おのれの色を“鍛える”ことは、ある程度可能であるように思います。そのための秘訣を2つお伝えしましょう。

一つは「仕事を選ばない」。恩師の澤村誠志先生からよく言われた言葉でした。無駄なことは一つもないということです。この言葉に後押しされて、作業療法、組織運営、士会活動、協会活動のいずれにおいても、依頼があれば常に引き受け、様々な立場を経験することができました。悔しい思いをすることも多々ありましたが、それも含めて経験は宝物だと考えています。私の感覚では、少し無理な依頼ほど、その経験が後々活かされてくるようです。仕事を選ばないことで様々な色が練り込まれていくのです。

もう一つは「偉くなりなさい」。私も職場で、主任、科長補佐、科長、次長、部長と様々な職位を経験しましたが、そのつど責任と役割が増え、それが私を成長させてくれました（もっとも、私の最終目標は常に副院長になることでしたので、飲んででは院長に「私を副院長にしたら…」と話を持ちかけました。送別会のとき院長が「副院長にできなくて申し訳なかった」と謝ってくださいましたが、これはもちろん私の実力のなさであり、この件は次のリハビリテーション部長の課題となっています）。こうした社会的な責任や役割も、そのひとの色に厚みを加えるに違いありません。

作業療法士の色、神奈川県士会の色

作業療法士は何色でしょう。作業療法は素晴らしい仕事だと心から思います。一人ひとりの作業療法士が自分なりの色を鍛え上げ、磨き上げて、様々ないい色を出し合うことができれば理想的です。日々の誠実で確かな臨床実践を通して、自分にいい色をつけていく——これを共に目指していきたいものです。

そして神奈川県作業療法士会は何色でしょうか。作業療法の源流をなす由緒ある施設を擁し、日本でも有数の会員数を誇り、事業活動も活発で、抜群の結束力を備えられています。協会との関係においても、第16回世界作業療法士連盟大会（2014年）、協会設立50周年記念式典（2016年）において多大なるご協力を賜ったことをはじめ、日本作業療法学会の開催、国際福祉機器展への協力、生活行為向上マネジメントの普及などにおいても大きく貢献していただいております。心からの感謝とともに、いつも貴会の活力に感心し、その“特色”の明度と彩度には目を瞠ってまいりました。これからも、多才な作業療法士たちがそれぞれ自分のいい色を持ち寄って、国民の健康と福祉に豊かな彩りを添える作業療法のあり方について共に語り、共に成長し、活躍の場を広げてゆきましょう。



～ 第16回神奈川県作業療法学会への道のり vol.7 ～

●運営局：長山 洋史

7月2日(日)、ついに第16回神奈川県作業療法学会が神奈川県立保健福祉大学で開催されます。突然ですが、学会参加の醍醐味の一つに、ご当地グルメがあるのではないのでしょうか。本学は、神奈川県でも三浦半島、横須賀に位置しており、様々な名産がございます。「横須賀海軍カレー」「横須賀バーガー」「ポテチパン」など横須賀名物に舌鼓を打ちつつ、夜は、横須賀の海の幸を肴に作業療法を語り合うのもまた一興でございます。ぜひ、この機会に横須賀めぐりを含めて足を運んでいただけることを心よりお待ちしております。なお、ご来場の際には、公共交通機関を利用していただきますよう、お願い申し上げます。また、昼食につきまして、本学周辺にも飲食店やコンビニなどございますが、当日は混雑が予想されますので、時間に余裕があれば、横須賀中央付近へと足を運ばれるか、持参されるのが無難です。運営局では、当日、参加された方が有意義に過ごせるように、誠心誠意、取り組んで行きたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い致します。

●会場運営：竹内 潤

本学会では、様々な方にご来場いただけるよう、色々試行錯誤しております。その1つに子育て中の方も安心してご参加いただけるよう、託児所を無料で準備しております。ぜひ、本学会ホームページをご参照いただけたらと存じます。また、県士会会員の皆様におきましては、事前に登録と参加費のお支払をお済ませになりお越しいただけるとスムーズに受付が可能となります。何卒、ご協力のほどお願い致します。会場運営委員一同、参加された方が明日の臨床に活かせる何かを持ち帰っていただけるよう丹誠込めて準備しておりますので、どうぞ、足をお運びいただけたら幸いです。

●機器展示：秋本 拓哉・池田 公平

本委員では、明日の臨床のヒントになるような機器を展示したいという思いで、企業に打診を行いました。最終的に、8企業10ブースの申込みをいただきました。本学会ならではのアットホームな雰囲気、様々な相談ができると思っておりますので、是非お立ち寄り下さいませ。皆様にとって明日の臨床に活かせ、対象者の生活に役立つ機器が見つかれば幸いです。

第16回神奈川県作業療法学会のプログラムが決まりました！

第16回神奈川県作業療法学会(2017年7月2日、学会長 玉垣努：神奈川県立保健福祉大学)まで約3か月となりました。この紙面をお借りし、プログラムの紹介をしたいと思います。

特別講演は藤田保健衛生大学客員教授・理学療法士の富田昌夫先生をお招きし、「情動を支援する身体からのアプローチ - OTに期待したい潜在認知への介入 -」というテーマでお話をいただきます。身体領域の先生方だけでなく小児や精神、高齢者領域の先生方にも臨床で使えるヒントがある内容と思っております。県民公開講座は「地域における生活支援」を主題に神奈川県立保健福祉大学教授(医師)の関勝先生に「リハビリテーション医学とアンチエイジング」というテーマで、首都大学東京大学院教授(作業療法士)の小林隆司先生に「障害を持った人が自分らしい生活を取り戻す過程と作業療法の役割」というテーマでお話いただきます。県民、当事者、支援する作業療法士がともに、未来の医療・介護・福祉を議論できる場にもなると思っております。

教育講演は身障領域では「中枢神経系疾患に対する作業療法 - 臨床OTの可能性 -」で山梨リハビリテーション

演題発表委員会 横浜市立大学附属病院 坂本 安令
病院の山本伸一先生に、高齢・地域領域では「認知症高齢者が地域で暮らす選択の未来」というテーマで介護老人保健施設ひもろぎの園の石井利幸先生にお話をいただきます。また、シンポジウムは精神領域では「リカバリーにおける作業療法の役割」というテーマで大橋秀行先生(埼玉県立大学)、栢沼祐人先生(秦野厚生病院)、馬場順子先生(横浜市総合保健医療センター)に、小児領域では「作業療法士による子どもたちへの支援」というテーマで伊地知ゆめ先生(デイサービスすりーぷーす)、本間嗣崇先生(座間養護学校)、岡田貴富先生(相模原市立療育センター)にお話しいただきます。各領域とも非常に興味深い内容となっております。

一般演題は今回70以上の応募をいただきました。エントリーしていただいた先生方には大変感謝しております。ポスターによるプレゼンですので、演者と参加者が濃密に討論できる場となれば、これからの臨床に反映できる有意義な情報源になると思われれます。

皆さま、ぜひ、ご参加ください。

理事会報告

★平成28年（2016年）度 第5回理事会議事録

日時：平成29年2月10日（木）19：00～

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、澤口、福留、佐藤、奥原、神保、吉本、遠藤、野本、作田、内山、村越 計12名

欠席理事：野々垣、名古屋、木村

出席監事：清宮、田中

その他：金山、宮沢（事務局：書記）

●報告・検討事項

1. 事務局

(1)渉外

- 1)群馬県作業療法士会創立30周年記念式典→澤口副会長参加
- 2)放射線技師会歌詞交換会→澤口副会長参加
- 3)臨床検査技士会歌詞交換会→錠内会長参加
- 4)神奈川県病院協会歌詞交換会→澤口副会長参加
- 5)看護協会歌詞交換会→澤口副会長参加
- 6)栄養士会歌詞交換会→錠内会長参加
- 7)平成28年度神奈川県リハビリテーション協議会連携指針検討部会→澤口副会長参加
- 8)医療職連合会→澤口副会長参加

(2)行政および職能団体関連

- 1)介護認定審査会委員を推薦 川崎市・相模原市・厚木市・小田原市
- 2)障害支援区分認定審査会委員を推薦 横浜市・相模原市・小田原市箱根町真鶴町湯河原町
- 3)障害者支援区分認定審査会委員を推薦
- 4)厚木市障害者介護給付費などの支給に関する審査会委員を推薦
- 5)神奈川県病院学会でのシンポジスト 当士会より木村村介理事が参加

(3)協会関連

- 1)平成28年度重点活動項目「女性会員の協会活動参加を促進する環境の整備」のための「都道府県作業療法士会における託児所設置に関する実態調査」に回答
- 2)第4回47都道府県委員会→錠内会長、福留事務局長参加
- 3)「協会員＝士会員」実現に向けて 協会と協力していく
- 4)ブロック化について 会員数増加に伴いより円滑な活動を行うためブロック化を検討する

2. 財務部

- (1)郵便振替での会費納入方法の変更について ゆうちょ銀行通常払込から電信振替へ⇒承認

3. 広報部

(1)対外広報班の活動

- 1)CASIOが母体のネット医療情報サービスによる記事掲載について 作業療法士による介護に役立つ情報や知識などを発信予定

4. 地域リハ部

(1)神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

- 1)神奈川県主催「地域づくりによる介護予防推進支援事業情報交換会」について 錠内会長始めOT士会から9名参加 各市町村担当者と情報交換を行った

- 2)訪問リハビリテーション費算定の基準の変更について ホームページにアップ予定

5. 制度対策部

- (1)生活行為の不便さを助ける道具等にかかる情報提供体制の構築に関するモデル事業 次年度もモデル事業継続となった
- (2)平成28年度重点活動項目「自動車運転とOT」担当について 西則彦氏（横浜市総合リハビリテーションセンター）を推薦（文責：金山）



★平成28年（2016年）度 第6回理事会議事録

日時：平成29年3月9日（木）19：00～

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、澤口、福留、佐藤、野本、名古屋、野々垣、神保、吉本、遠藤、奥原、木村 計12名

欠席理事：作田、内山

出席監事：清宮、田中

その他：出口（広報部）、金山、平山、山口（書記）

●報告・審議事項

1. 事務局

- 1)各養成校へ平成28年度卒業生に対し祝電を送付予定。入学式の際にも祝電を送付予定。
- 2)行政および職能団体関連 神奈川県リハビリテーション協議会 3月30日（木）澤口副会長参加予定
- 3)後援名義使用 公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部の後援
- 4)一般社団法人神奈川県作業療法士会 平成29年度第4社員総会 平成29年5月14日（日）9:00 場所：横浜市開港記念会館

2. 財務部

- 1)平成29年度予算案→承認

3. 教育部

- 1)研修会報告 3月5日（日）会場：ウィリング横浜現職者共通研修参加者 事例報告 59名 事例検討 47名

4. 福利部

- 1)職場見学・体験会 起業編 通所介護・訪問リハビリステーション 3月11日（土）場所：『株式会社リーフスタイル』
- 2)審議事項 神奈川県作業療法士会 表彰規約 新規議案について⇒承認

5. 地域リハ部

- 1)難病リハビリテーション研修会 3月26日（日）会場：横浜リハビリテーション専門学校 講師：3名
- 2)神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告 「地域包括ケアシステム三士会合同研修会」 OT士会、PT士会、ST士会主催にて開催
- 3)事例収集協力 訪問リハビリテーション振興財団から訪問リハビリ事例収集の依頼あり⇒PT/OT/ST 合わせ神奈川県内で20件集める予定

6. 認知症対策委員会

- 1)OT協会 認知症推進委員会の提起している研修会の開催 開催日：平成29年12月2日（土）場所：横浜市総合保健医療センター
- 2)部員承認→1名を承認（文責：福留）



生活行為向上マネジメント

生活行為向上マネジメントの事例登録について

平素より会員の皆様には生活行為向上マネジメントの普及啓発にご尽力いただき誠にありがとうございます。

新年度となり、新卒者の採用や転職に伴い研修会の企画運営を検討されている方々も多いかと思えます。生活行為向上マネジメントは作業療法士の生き残りをかけた日本作業療法士協会を挙げての大プロジェクトですので、是非とも当会の企画する研修会を受講できるように、ご配慮いただければと思っております。

生活行為向上マネジメントの説明に関しては、過去2年間の本誌に掲載させていただきましたので、ウェブサイト等のバックナンバーでご確認いただければと思えます。

生活行為向上マネジメントの教育システムは、概論+演習から成る研修会（旧基礎研修会）の受講と、日本作業療法士協会が構築している事例登録制度に生活行為向上マネ

ジメントを用いた事例を登録することで組み立てられています。

生活行為向上マネジメント研修

概論 (90分) + 演習 (330分) + 事例登録

研修会の受講に関しては問題ないのですが、いざ事例を登録する際にはいくつかの課題が見受けられます。

そこで今年度は事例登録の際の注意点やポイントについて本誌で解説していきますので、1年間お付き合いのほどよろしくお願い申し上げます。

まず今回の注意点についてですが

会員番号

ログインパスワード

の準備をお願いいたします。

(文責：生活行為向上マネジメント推進委員会 木村)

研修会案内

慢性腰痛の機能解剖学的診方・考え方 ～病態の解釈と運動療法のマッチング～東京会場～

主催：株式会社 gene
日 時：2017年6月3日(土) 10:00～16:00
(受付9:30～)
場 所：日本薬学会 長井記念館 (長井記念ホール)
地下2階 ホール
U R L : http://www.gene-llc.jp/seminar_info/?id=1485308942-390297

慢性腰痛の機能解剖学的診方・考え方 ～実技編～東京会場～

主催：株式会社 gene
日 時：2017年6月4日(日)
10:00～16:00 (受付9:30～)
場 所：株式会社 日本印刷会館 2階会議室
U R L : http://www.gene-llc.jp/seminar_info/?id=1485309663-234771

姿勢と運動連鎖
～変形性股関節症に対する治療戦略～東京会場～
主催：株式会社 gene

日 時：2017年6月11日(日)
10:00～16:00 (受付9:30～)
場 所：株式会社 日本印刷会館 2階会議室
U R L : http://www.gene-llc.jp/seminar_info/?id=1485313943-852977

第27回日本作業行動学会学術集会 in 浜松

主催：日本作業行動学会
日 時：2017年6月17日(土)・18日(日)
場 所：クリエート浜松 (JR 浜松駅より徒歩10分)
U R L : <https://jsob27th.wixsite.com/ob27-hamamatsu>

初学者のための心疾患合併患者の評価と 運動療法の進め方～横浜会場～

主催：株式会社 gene
日 時：2017年6月25日(日)
10:00～16:00 (受付9:30～)
場 所：神奈川産業振興センター
13階 第1・2会議室
U R L : http://www.gene-llc.jp/seminar_info/?id=1485851584-494780

療法士による排泄リハビリテーションセミナー

主催：作業療法による健康を考える会
日 時：2017年6月25日(日)
場 所：東京工科大学蒲田キャンパス
U R L : <https://goo.gl/forms/pdsAYLuJ24UVkisb2>



ちょっと一杯 どうですか？

No. 2 『仕事って』



『おじちゃん』って近所の子供たちに呼ばれている私も、自宅近くの病院に勤務する作業療法士。病院では、誰からも『〇〇先生』と呼ばれている。

よく患者さんと話をしていると、どんな人生を歩んできた人なのか、と思うときがある。その人の人生に触れることが素直にできる、そんな職種が作業療法士かもしれない。何とも贅沢な仕事だ。いろんな人生を楽しく聞かせてもらう。私も沢山の方と話してきた。学校の先生もいた。警察官も。消防署の隊長や警備の隊長。NASAのロケットを作ったひと。某テレビ局のお笑い番組ディレクター、歌手もいれば芸能人もいた。謎の発明家や超有名な気功師さん、空手の先生にお花の先生、オリンピック選手に飲み屋のマスター、市議会議員さんや大学の教授、パチンコ屋のオーナーや高速道路設計士、ピアニストに釣り船船長、和食のプロ職人に津軽三味線の先生、大手電機メーカーの社長さんやゴルフ場管理者、そしてチンピラや暴力団員、殺人犯罪者や覚せい剤常習者、同性愛者や引きこもり、家族から虐待を受けた子どもや大人、クマと闘って怪我をしたアルピニスト、10Mの高さから天井が抜け落ちて剥き出しの鉄筋に串刺しになった大工さん、何日間か海を漂流して奇跡的に発見された人、中学生が出産した小さな命、豪華客船のクルーなど、まだまだいるけど、みんな怪我や病氣と闘いながらリハビリを共にした人達。話してくれる内容が、私の人生に溶け込むかのように時間が過ぎる。

とある右片麻痺（利き手）の患者さんを担当していた何年も前のこと。たしか脳出血で重度の麻痺が右上肢に残り、構音障害のみで失語はなかった50歳位の女性だった。女手一つで10坪位の居酒屋を経営していた。私は当時作業療法士になりたてで、とにかく一生懸命に考えた。彼女はこれからの人生で何が必要となるのか、どんなことを克服しなければならないのか。自立した生活と仕事が、果たして可能になるのかどうかを一生懸命考えていた。自分なりにしっかりと患者さんと向き合ったつもりだった。作業療法士としてできることはやったつもりだった。退院前に彼女は『出来ると思う、出来なかったらそれまでよ。仕方がないじゃない。でも、悔いはない。これだけ一生懸命リハビリやってダメならば、受け入れる…それも運命だから。リハビリの先生が悪いわけではないの。これは私の運命なの…』と言葉を残して退院していった。その当時、とにかくガムシャラに勉強して沢山の患者さんを担当してきたけど、正直、彼女に『これも運命』と笑顔で言われて、なんだか自分の無力さや自信を無くしたことを思い出す。退院して数週間後、何と彼女がお店を紹介してくれた『一度飲

みにおいでよ。リハビリの成果を見に来てよ』と。心情的には躊躇したが、思い切って尋ねてみたら、常連客を前にして左手一本で全て行っている光景を目の当たりにする。約10席あるカウンター席は満席で、他の居酒屋のように普通にバンバン注文が飛ぶ。私は正直なところ想像もつかない光景に“すごいねえ”と店の活気あるカウンターで小さく呟いた。気を遣いあまり注文をしないしていると『心配なんかいらぬよ。お客さんがね、みんな助けてくれるから大丈夫。普通にしていればいいのよ、先生も。だって今日は前と同じようにちゃんと仕事ができているかを見に来てたんでしょ？何驚いているの？で、なにか注文は？』と。目の前の彼女は、酔っぱらったサラリーマンの相手をしてながら、私に注文を取り、片手で包丁を使い、刺身を切り、モロキュウの胡瓜を丁寧な切り、トマトのサラダを作り、焼き鳥を焼くのに木炭を足して団扇で煽いでいる。その手際の良さは想像以上だった。『生でいいの？』と言われ、“あ、はい”と言うと。『びっくりした？でしょ。何とかなるもんだよ。これもみんな先生たちのお蔭よ。ホント。』と。“ええ、本当にビックリしてます。すごいなあって”と慌てて答えた。『あ、生ね。自分でやってちょうだい。こればかりは両手じゃないと良い泡と中身の配分がどうしてもできないんで、みんなお客にやってもらうの。みんないい人なのよ。ここのお客はね』と、カウンター客が口々に“そうそう、お客をこき使う店なのよ、ここは。ええーと、生です。ハイハイ”と隣の客がサーバーで注いでくれた。

仕事復帰に希望を抱く患者さんのモチベーションって違うもの。私はどれだけこのような方々に助けられたか。障がいや背負っても自分自身を貫く強さは、決して我儘なんかじゃなく、適応するための偉大なる作業工程のようだ。正直、作業療法士って、クライアントの適応を援助したり、能力を引き出そうとする仕事なんだよな。これって、患者さんだけの話ではなく、普段から付き合いのある仲間とも『生きるための本質』を感じたり、考えたりする作業工程みたいなものがとても大切なんだと思う。作業療法の世界は、『生きるための本質』を極め、様々な治療効果を引出し、さらに研鑽していく仕事なのかも。仕事って、どんな意味をもつものなのか、一度向き合ってみるとなかなか面白いと思う。

今回も登場した“おじちゃん”。OTを一生涯の仕事と決意し、長いOTの歴史と共に奮闘している“おじちゃん”です。あくまでもおじちゃん視点での作業療法学を織り交ぜた連載コラムです。面白エピソード満載です。次回もお楽しみに。
(文責：ペンネーム おじちゃん)

各 部 か ら の 報 告

福 利 部

職場見学・体験会（起業編）～見て・聞いて・体験して～ 利用者様の願いを実現するために、スタッフのあきらめない気持ちを感じた1日

昨年度の3月11日(土)「生活ケア・リハビリ・こち」(藤沢市)にて職場見学・体験会を実施させて頂きました。

今回の講師は「スポットライト～OTの生き方～」にも寄稿して頂いた山崎純一氏です。当日は施設内外の説明・紹介から始まり、多種多様のアクティビティ(材料費は全て無料で提供)の紹介では完成度のあまりの高さに驚かされました。そして利用者様手作りのお菓子を頂きながらの交流では楽しく・穏やかな時間を過ごさせて頂くことができました。

今回の見学・体験会で感じる事ができた1つとして、当たり前的事ではありますが、関わるスタッフが、利用者様の願いをあきらめないという事が非常に大事だと感じる事ができました。病院や施設で働いていると、どうしても運営上の問題、制度的な問題、時間的な問題等な



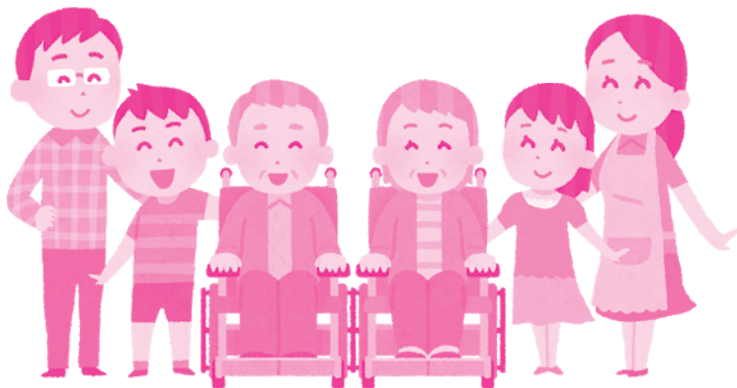
手作りのお菓子を頂く様子

ど様々な理由により、患者様・利用者様の願いを私たちが諦めている場面があるように感じます。今回の会を通して、私たち作業療法士は利用者様の願いを引き出すことができ、夢を実現させる力を持っていると改めて気づかせて頂くことができました。

今回の見学・体験会は利用者様の多くの笑顔だけでなく、スタッフの方々の多くの笑顔にも触れる事ができました。利用者様・スタッフが1つとなって同じ目標に向かい歩む事で生まれる大きな力を感じる事ができました。また山崎氏からは「いつでも施設に見学に来てください」との言葉を頂きました。皆様も是非一度、「生活ケア・リハビリ・こち」を見学されてはいかがでしょうか。(文責：福利部 職場見学・体験会班 班長 池嶋孝二)



利用者様との交流の様子



地域リハビリテーション部

難病リハビリテーション講習会

春寒の季節らしく、3月26日(日)に難病リハビリテーション講習会は開催されました。

毎年、難病疾患の利用者へ関わる為の研修会を企画しており、今年度の内容は神経難病の利用者へのコミュニケーション支援を keyword とし各講義が構成されました。参加者数は35名と例年より多くの参加をいただきました。

難病の利用者へのコミュニケーション支援に必要な講義や経験豊富な講師の日々利用者へ寄り添うという関わり方、日頃は聞く事が少ない症例報告を通して、臨床で直ぐに使えるようなヒントがいただけました。

利用者とは日々関わっている神奈川リハビリテーション病院の臨床工学士よりタブレットやスマートフォンを使った、コミュニケーション支援方法など目から鱗の内容でした。また、コミュニケーション機器を多く扱っている(株)ダブル技研様のご協力をいただき実際に触れる事が少ないコミュニケーション支援機器を目の前で見て、触って、体験することが出来、とても有意義な講習会でした。

今年度も内容を少し変えながら難病リハビリテーション講習会を行う予定です。ぜひ、その際は参加の方をよろしくをお願いします。



介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会 OT協会主催

2月26日にOT協会主催の介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会が各県士会代表者で開催されました。

各都道府県の地域ケア会議の取り組み報告、介護予防ケアマネジメントについて、総合事業について、総合事業の取り組み例などが発表されました。総合事業の取り組み例として、横浜市の地域リハビリテーション活動支援事業について他の都道府県へ向けて発表する機会もいただき取り組みについて話すこともできたと思います。

今後、各市町村で総合事業に取り組む機会が増えてきますので会員の皆様と情報を共有しながら県士会の事業も進めていければと考えていますのでご協力の方をお願いします。



地域リハビリテーション三団体合同研修会

2月25日(土)に横浜リハビリテーション専門学校で地域リハビリテーション三団体合同研修会が開催されました。

理学療法士会、言語聴覚士会三士会から100名の参加となり、錠内会長をはじめとして各県士会長の挨拶から研修会が始まりました。

内容としては、神奈川県高齢福祉課課長より『地域包括ケアシステム構築に向けた神奈川県の取組』について講演があり、シンポジウムとして『地域包括ケアシステム構築に向けた関係職種の取り組みを知ろう』というテーマでケアマネジャー、MSW、管理栄養士の取り組みについて話しを聞く機会を得ました。行政や各関係団体の取り組みによってリハビリ専門職として動きや作業療法士としてどのように地域包括ケアシステムに関わっていけばいいのか考えることができました。

今回の研修会は、地域人材育成の研修会で参加要件として地域リハ部主催の地域リハビリテーション人材育成研修会受講者など設けて実施しましたが、各士会も同様な参加条件となっていますので平成29年度も同様な条件にて研修会を行う予定です。皆様も次回も参加検討をしていただければと思います。

地域リハビリテーション部

神奈川県主催 地域づくりによる介護予防推進支援事業 情報交換会

寒さを感じる2月8日に神奈川県社会福祉会館にて神奈川県主催の『介護予防推進支援事業の情報交換会』が開催されました。神奈川県作業療法士会としては、会長、理事をはじめ代表者10名が参加し、行政職員やPT士会、ST士会の代表者とグループワークや情報交換をする機会を持つことができました。また、『相模原市における住民主体の通いの場の支援について』を相模原市職員として参加されていた作業療法士の金沢隆之氏より取り組みについて講演があり、作業療法士会の介護予

防などの取り組みについて地域リハ部の担当理事である遠藤陵晃氏より行政職員についてアピールしてまいりました。

県や市町村としても作業療法士が地域に出てきていることを望んでいます。介護予防をはじめ地域に出ていってみるのもいいのではないかと考えます。少しでも興味があるか会員の皆様は平成29年度に行われる地域リハビリテーション人材育成研修会へ参加をしていただければと思います。
(文責：遠藤)

地域包括ケア推進委員会

OTを活かした認知症予防教室は大盛況！

地域包括ケアシステム推進委員会では、地域の方を対象にした健康づくりをすすめています。その一環として、3月8日と15日の二日間にわたって、藤沢市の辻堂公民館で認知症予防教室を実施しました。神奈川県作業療法士会としての新たな取り組みです！

今回のテーマは「認知症に強い脳をつくる！」ということで、1回目が「日常生活の自己診断」、2回目が「コグニサイズで頭と体を活性化」の二本立てで行いました。初めての取り組みですので参加者が集まるか不安でしたが、満員を超える参加がありました！申し込み初日で満員近くになったと聞いて、改めて認知症予防への関心が高いことが分かりました。

セミナーは二時間でしたので、参加者が飽きないように工夫しながら進めました。「日常生活の自己診断」では、以下の内容を実施しました。

- ①作業療法士とはどんな職業？②作業がもつ効果を知る
- ③認知症について④興味関心チェックリストの紹介
- ⑤作業バランスシートの体験ワーク



作業と脳機能との関係や作業と環境の関わり方が及ぼす影響など、作業療法士にしかできない話題に参加された方は目を輝かせながら集中して聴いていました。また、作業バランスシートの体験ワークでは、普段の生活内容が見直せる良いきっかけになったようで、参加者同士のトークも大変盛り上がりしていました！

ある参加者からは、「勉強になった。でも、作業という言葉がよくないわね。私たちの世代は作業と聞いてイメージすることが違うので。」なんて感想も。また、教室後に私の事業所にきた方は「生活における運動や工夫をアドバイスしてくれる人がほしい。1人暮らしで頼る人もいないから…。」と切実な思いを話していました。

作業療法士としてできることはまだまだ沢山あります。直接地域の方と関わることで多くのことが見えてきますね。

今後はこのような予防事業に多くのOTに参加していただきたいと思っています。地域包括ケアシステム推進委員会の今後の活動に要チェック！

(文責：地域包括ケア推進委員会 大郷和成)



広報部対外広報班

第44回相模原市民桜まつり 平成29年4月1～2日

4月1日・2日の2日間、第44回相模原市民桜まつりに県士会広報ブースを出展しました。両日ともに気温は低い中での活動でしたが、咲き始めた桜の下、春の訪れと来場者の温かな思いを感じながら広報活動をしてきました。

活動内容は県士会パンフレットの配布と自助具の紹介・作製体験を実施しました。出展5度目の今年は「居心地の良いリハビリカフェ」をコンセプトに、ブース内のテーブルを円卓様に設置することでリハビリ相談や自助具作製、折り紙などの創作活動を自由に行い、お話しやすい雰囲気の中で作業療法の紹介を行いました。来場者の方々は展示されている自助具に興味を持たれる方が多く、「これ、どうやって使うの?」「これは便利だね!」と手に取って試用されておりました。毎年恒例のボタンエイド作製では、2日間で60名の方に体験していただきました。体験された方の中には、「手先が弱ってしまったのか細かい動きが大変そうで…」とお母様を思って作られる方や、「シャツを着る時に使ってみるわ」とご自身のために作られる方など、自助具作製を通して幅広い年齢層の方々との交流をすることができました。作製している間やパンフレットを説明している際にも、「うちの親が脳梗塞をしてから家に閉じこもっている」「最近、肩が拳がらなくなって布団の上げ下ろしが大変になってきた」など、市民の方々が普段抱えている悩みや不安を

直接お聞きし、身近な相談役としての作業療法士のあり方を感じる機会にもなりました。また、「以前あなたの病院に入院していた〇〇です。ここまで良くなりました!」と久しぶりに再会できた方、「今年もやってるね、去年ここで作ったボタンとめる道具使ってるよ」と話される方など、これまで行ってきた作業療法の広報活動が、地域住民の方々にとって親しみやすいイメージになるような種を撒けているのではないかと感じる事ができました。

しかしその一方で、参加者の方が興味を示すような声かけの難しさや展示品のバリエーションの少なさを感じました。相模原市民桜まつりは2日間で来場者数40万人を超える大きな催事となっております。高齢者や家族連れの来場者に向けて、疾患に対するリハビリテーションだけが作業療法士の関わりではないことを伝えられるよう、来場者の年齢層や特色を加味した上での「広報活動」を検討していく必要があると感じました。

これからも県内での広報活動を行う上で、「作業療法とは」をわかりやすく簡潔に地域住民に伝え、作業療法士がいかに関わりやすくなるかを模索しながら活動を進めていきたいと思います。皆さんも地域に潜在するニーズに耳を傾け、地域に寄り添いながら『作業療法』の効果伝えていきたいと思います。(文責:平田)



教育部 県士会ウェブサイトから質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

今年度最初の「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」です。

今春作業療法士国家試験に合格、就職された方、おめでとうございます。迎えた側の方も業務拡大や充実に向けて新たに動き始めたところではないかと思えます。

さて、このコーナーは、県士会教育部関連の情報をご案内していきます。教育部はOT協会の生涯教育制度に関する事業を主に展開しています。教育部の情報、特に生涯教育制度関連の研修会開催情報はこの県士会ニュースと県士会ウェブサイトを通じて発信されますので、しっかりアンテナを張っておいてください。

なお、本土会主催の事業、特に教育部関連の研修会に申し込むには、OT協会（協会）と神奈川県作業療法士会（県士会）の両会への入会と年会費の納入が必要です。研修会当日の入会手続きはできませんので、予めご入会、納入手続きをお済ませください。お近くの方にも広くお伝えください。

今号では、今年度開催予定の生涯教育制度関連の研修会をご案内いたします。

1. 現職者共通研修：生涯教育制度の必須基礎研修、毎年全10テーマ開催

2. 現職者選択研修：必須のMTDLP基礎研修と領域別選択（身体・老年期・精神・発達の各障害領域）の生涯教育制度の必須基礎研修で、毎年2領域開催（今年度の開催領域は検討中です）

※神奈川県士会では、一年間で必須基礎研修が修了できるように企画、開催しています。

※7月号以降の県士会ニュース、県士会ウェブサイトにて開催情報を順次ご案内します。





3. 事例報告登録制度研修会：協会への事例報告登録は、認定作業療法士申請に必須です。神奈川県士会独自開催の研修会です。

その他、研修会等参加証明書、県士会の役員や部員・委員などの県士会裁量ポイント、「作業療法」掲載論文・事例報告登録制度への登録事例等のポイント化手続きは県士会にて随時受付中です。なお、基礎研修修了、認定作業療法士、専門作業療法士の申請はOT協会です。ご不明の点をご連絡ください。県士会ウェブサイトからも質問ができます。

〈問合せ先〉教育部 奥原孝幸 kyoiku@kana-ot.jp、
神奈川県立保健福祉大学 046-828-2738（直）

ウェブサイト管理委員会

**県士会サイト・更新情報を確認する方法
お好みの方法をご利用ください！**

更新情報を確認する方法	電子メール（メールマガジン）	Twitter	Facebook	RSS
	 http://kana-ot.jp/update/from_kana	 https://twitter.com/kaotwebkan	 https://www.facebook.com/kaotwebkan	 http://kana-ot.jp/update/feed
県士会サイトの更新	○	○	○	○
県士会ブログの更新	×	○	○	△（ブログ毎で設定）
リハネットニュース	×	○	○	×

（文責：ウェブサイト管理委員会）

求人案内



医療法人社団 清伸会 ふじの温泉病院 老人施設なごみの里

当法人は温泉が湧出する自然豊かな環境にあります。
現在 16 名のOTが活躍しています。
今春卒業者も歓迎します。

募集人員：若干名
施設概要：病院 472 床（精神科 256 床・内科 216 床）
老人保健施設 120 床
分野：老年期障害・精神障害及び身体障害
給与：月給 291,170 円（初任給）～
待遇：賞与年 2 回 社会保険完備 交通費支給 退職金制度
5 年 10 年勤続表彰海外旅行 保育所完備
その他：学会・研修会出張奨励金制度
勤務時間：9：00～17：00（実働 7 時間）
休日：4 週 6 休 夏季・年末年始 その他
年間 100 日 有給休暇（即 20 日）
交通：J R 中央線藤野駅より専用シャトルバス 15 分
応募：電話連絡の上履歴書持参（郵送可）下さい。
施設見学も随時受け付けております。お気軽にお問合せ下さい。

問い合わせ先

〒 252-0186 相模原市緑区牧野 8147-2
TEL：042-689-2321（代）担当者/人事
Email：j-yamamoto@fujino-hp.or.jp
URL：http://www.fujino-hp.or.jp

編集後記

さて始まりました新年度！桜が咲いて、キラキラの新人さんがいて、新年度は忙しいですが、どんな一年になるのかワクワクする季節ですね。

みなさんは今年どんな一年にしたいですか？憧れ OT に近づくために勉強を頑張りたい方、もっと周りと交流したい方、のんびり過ごしたい方様々かと思えます。皆様に少しでもお役にたてるように広報部も頑張っていきます。

少し遅いご挨拶となりましたが、今年度もどうぞよろしくお願ひ致します。（くうさん）

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース 〈185号〉2017年5月発行（年6回発行）

発行責任者 錠内 広之
編集責任者 神保 武則
編集担当 出口 弦舞（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科）
山岡 洸（新戸塚病院）／佐藤 愛（新戸塚病院）
安田 優子（横浜旭中央総合病院）／丸岡 ちひろ（済生会横浜市東部病院）
井部 賢吾（北里大学東病院）

印刷 発送 株式会社高陽印刷所
事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号
TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金 10：00～15：00
メールアドレス：jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

http://kana-ot.jp → 作業療法 神奈川 検索
Facebook https://www.facebook.com/kaotwebkan
Twitter https://twitter.com/kaotwebkan

